



阿見町

阿見町社会福祉協議会
Ami Welfare Information

しゃきょうだより

第139号

【編集・発行】

社会福祉法人 阿見町社会福祉協議会
令和4年10月28日発行

阿見社協

検索

【事務局】

〒300-0331 阿見町阿見4671-1
総合保健福祉会館(さわやかセンター)内
E-mail: fukushi@amishakyo.or.jp
URL: <http://www.amishakyo.or.jp>

特集：地域包括ケアリーダーの
取り組み

農業体験
青空わっしょい



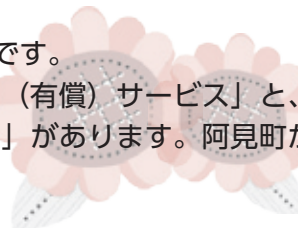
社協事業案内



ひまわりサービス

ひまわりサービスは、町民同士の助け合いによる会員制の福祉サービスです。

高齢者や障害のある方などに、簡単な家事のお手伝いをする「在宅福祉（有償）サービス」と、お子さんのお預かりなど、子育てのお手伝いをする「ファミリー・サポート」があります。阿見町からの委託を受け、町社会福祉協議会が運営しています。



	在宅福祉（有償）サービス	ファミリー・サポート
サービス内容	・食事の支度 ・衣類の洗濯、補修 ・住居等の掃除 ・買い物 ・通院付き添い など	・保育施設の保育開始前や終了後の子の預かり ・保護者の外出時の子の預かり ・保育施設までの送迎 ※徒歩または公共交通機関による送迎 ・産前産後の家事援助
利用できる方 （利用会員）	おおむね 65歳以上の高齢者、 障害者、母子父子家庭	小学校 6 年までのお子さんを持つ保護者、 妊産婦
協力してくれる方 （協力会員）	町内に住所を有する、所定の研修を修了した 75 歳以下の方。 心身とも健康で、サービスに対して理解と熱意のある方。	
利用時間	7 : 00 ～ 19 : 00	7 : 00 ～ 21 : 00
利用の流れ	①問い合わせ まずはご連絡下さい。 ②登録 登録会員の登録が必要です（登録無料）。 ③顔合わせ 事務局と利用会員と協力会員で打ち合わせをします。 ④利用当日 協力会員が依頼された活動を行います。	
料 金	1 時間 600 円 事前に利用券を購入していただきます。 料金は利用券で支払います。	1 時間 400 円 （お預かりするお子さんが 1 人増えるごとに 1 時間 300 円追加） 活動終了後、現金で支払います。



協力会員募集中！

協力会員として活動していただける方を募集しています。助け合いの活動にご興味のある方、詳しく内容を知りたい方、是非お気軽にお問い合わせください！

【報酬】 在宅福祉サービス 600 円 / 時間

ファミリー・サポートサービス 800 円～ / 時間



【問い合わせ】 ひまわりサービス **887-8124**



このマークがついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。

社協のできごと



7/21 心配ごと相談員研修会 「自筆証書遺言書保管制度」について



令和2年より開始された、自筆で作成した遺言書を法務局に預けることができる、「自筆証書遺言書保管制度」について、水戸地方法務局土浦支局より出張していただき、遺言書の作成から保管までのお話を伺いました。

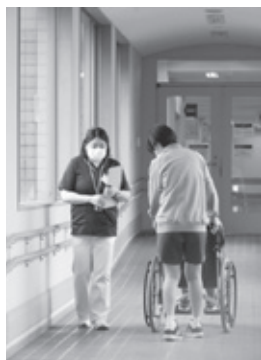
当日は講演のほかに、昨今相談数の増えている相続・遺言に関する事例で、ロールプレイ・意見交換も行い身近な問題としてより具体的にに取り組むことができ、有意義な研修となりました。

7/29 日常生活自立支援事業生活支援員・ふれあい電話訪問員合同研修会 「心のつながりを育む聴く力」



日常生活自立支援事業の「生活支援員」と、一人暮らしの高齢の方に電話で訪問し、お話を伺う「ふれあい電話訪問員」が、合同研修会を行いました。茨城カウンセリングセンターの稲垣カウンセラーを講師にお迎えし、日頃行っている援助・傾聴業務のセルフケアについて、わかりやすく講演していただきました。二人一組のグループワークでは、活発な意見交換が見られました。

7/26 8/2・5 中学生いきいき介護教室



町内の中学生を対象に、「中学生いきいき介護教室」を開催いたしました。本事業は、地域の未来を担う中学生に、介護や福祉の体験を伝えるために実施しております。

茨城県立医療大学の先生方からは、車いすの使い方や高齢者との接し方について学びました。また、茨城キリスト教大学専任講師・池田幸也先生から、ボランティア活動や、介護や福祉に関する仕事と資格についての講義を行いました。

参加した中学生の皆さんの今後の活躍に期待しています。

参加者の皆さん・ご協力いただいた先生方、ありがとうございました！



【令和4年度 行政区主催の敬老会について】

令和4年度行政区主催の敬老会につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念されることから、また参加者の皆さまの健康と安全を第一に考え、開催中止とさせていただきます。

なお、敬老会中止に伴い今年度も特例として、対象者の皆さまには、町からお祝いの品として、コンビニエンスストアなどで使えるクオカード千円分を送付させていただきましたので、ご利用いただければ幸いです。

また、下記の敬老会表彰者の皆さまには、町からの表彰者記念品を区長の皆さまのご協力をいただき、お届けをさせていただきました。

対象者の皆さまには、いつまでもお健やかに過ごされますことをお祈りいたします。

※75歳以上の方（75歳は当該年度中（4月1日～3月31日までの間）に75歳になる方）で、令和4年8月1日現在阿見町に住居登録があり在宅でお過ごしの方

令和4年度敬老対象者(75歳以上)		7,400名		令和4年8月1日現在	
敬 老 会 表 彰 者 内 訳	米寿	88歳	長寿	100歳	初高砂夫妻 80歳以上
		239名		17名	127組



特集 地域包括ケアリーダーの取り組み

地域包括ケアリーダーとは



高齢の方や認知症の方などを対象とした、地域でのボランティアの実践者です。生活支援体制整備事業（※）として、阿見町・町社会福祉協議会・茨城県立医療大学が連携して取り組みを推進しています。

「地域包括ケアリーダー養成講座」では、

- ・生活習慣病予防と介護予防、体力測定
- ・認知症の基礎知識
- ・コミュニケーションスキルの磨き方
- ・ボランティアとしての心構え

など、地域での取り組みについて学びます。講義は県立医療大学の先生方が担当しています。いつでも和気あいあいとした雰囲気が魅力です。

ケアリーダーTシャツです☆



※生活支援体制整備事業とは

町では、住み慣れた地域で生きがいを持って暮らしていくために、住民主体の地域で支えあう仕組みづくりを行っています。

皆さんの身近な方々や皆さん自身が、これからも元気で過ごすために地域の中で何ができるか考えてみませんか？

フォローアップ研修

平成28年度から開催している養成講座では、現在までに102名の方が受講し、ケアリーダーとして地域で活躍しています。令和4年5月には、講座の修了生が一堂に会し、取り組みの交流や、情報交換、近況や活動における悩み等を話し合いました。



ケアリーダー会

フォローアップ研修での意見から、ケアリーダー同士の定期的な集まりの場作りが進められています。

次回の実施は11月を予定！



【活動事例】地域で活躍中！！

農業体験青空カフェ（表紙）

農業体験青空カフェは、令和3年度のケアリーダーの受講生が受講をきっかけにメンバーを募り、立ち上げたサロンです。毎週1回、おしゃべりしながら畑づくりを行っています。医療大学の学生さんも参加し、5月にサツマイモの苗を植えました。10月には収穫・焼き芋を行う予定です。

作業のあと、手作りの眺めのよいベンチで、仲間たちとゆったりと過ごす時間は格別とのこと。次は何を作ろうか、アイデアを出し合いながら取り組んでいます。



種から植えた辛味大根を収穫しました！



友遊サロン

令和元年度に、ケアリーダーの修了生によって初めて立ち上げられたサロンです。受講を通して、地域住民が一緒になって身近な場所に集まり、連携・仲間づくり・生きがいづくりを行う必要性を感じました。毎月、脳トレゲーム、健康体操、趣味活動を行い、地域の交流の場所となっています。



地域活動への参加

ケアリーダーの受講をきっかけに、地域での取り組みとの関わりができたことから、参加につながりました。

- 1 オレンジカフェ（認知症当事者とその家族のための交流の場）
- 2 阿見朗読の会（朗読による町広報紙の音訳活動）



地域包括ケアリーダーの取り組みに参加してみませんか？

皆さんの参加をお待ちしております。

★こんな方におすすめです★

- ・地域と関わりを持ちたい
- ・知識や経験を活かしたい
- ・仲間づくりをしたい

★次回のケアリーダー養成講座は、令和5年1月～開講予定です。回覧や町広報でお知らせいたします。



【問い合わせ】阿見町地域包括支援センター 887-8124



このマークがついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。

社協事業案内



デイサービス

社協デイサービスは総合保健福祉会館（さわやかセンター）内にあります。
『心身機能の維持向上』とともに『笑顔で過ごす時間』をたくさん持っていただけるように、敬老会やクリスマス会など様々な行事を提供しています。
詳しくはお問い合わせください。

一般浴

機械浴

館内散歩

レクリエーション

食事

夏祭り

お花見

敬老会

【問い合わせ】887-0084



このマークがついている事業は社協会費が活用されています。

社協事業案内



地域包括支援センター

地域包括支援センターは高齢者に関する介護・福祉など総合的な相談に応じる機関です。
保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャー等が中心となり、お互いに連携をとりながら活動しています。

介護や健康のこと (介護予防ケアマネジメント事業)

要支援1・2と認定された方や事業対象者の方の生活や介護についての相談、介護予防ケアプラン作成・支援などを行います。

権利を守ること (権利擁護事業)

高齢者が尊厳ある生活を送ることができるよう虐待を早期に発見するなど、高齢者の権利を守り安心して生活できるよう支援します。

さまざまな相談ごと (総合相談事業)

高齢者やご家族、地域住民からの介護や福祉に関する相談や日常生活のさまざまな問題に対応します。

暮らしやすい地域のために (包括的・継続的ケアマネジメント支援事業)

高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができるよう、さまざまな関連機関とのネットワークづくりや支援体制の構築に力を入れています。



些細なことでもかまいません。困ったことや心配ごとなど、お気軽にご相談ください。
私たちが対応いたします。

【問い合わせ】阿見町地域包括支援センター **887-8124**

ありがとうコーナー



ご協力ありがとうございます。
令和4年7月1日～9月30日(敬称略)

阿見町善意銀行

匿名	粉ミルク等
立ノ越区18・19班一同	8,542円
匿名	おむつ等
匿名	玄米 60kg
匿名	玄米 30kg
匿名	玄米 90kg
匿名	38,980円
(株)樹里	おむつ等
匿名	切手
丸和バイオケミカル株式会社	1,500,000円
仲村一枝	精米 3kg
匿名	マスク5箱
山口 道子	玄米 30kg
白井 舞子	玄米 30kg
匿名	玄米 90kg
匿名	おむつ・パッド

使用済み切手・書き損じ葉書収集

あみ小林クリニック	霞ヶ浦高等学校JRCボランティア同好会
齋藤 孝男	医療大学付属病院ボランティア
つくみ区プラチナ会	訪問看護ステーションharu style
阿見いきいきクラブ	お弁当のくっくる
斉藤 節子	大鵬電設(株)
久保川 真由美	(公社)阿見町シルバー人材センター
(株)大和	阿見インディアカ
君原小学校	阿見町役場 町民課
匿名 5名	

使用済み切手の収集について

皆さまからお預かりした使用済み切手等は茨城県社会福祉協議会でとりまとめを行っています。

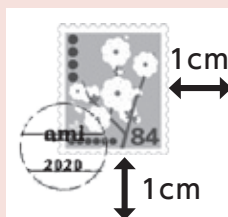


茨城県社会福祉協議会 預託実績(令和3年度)

預託内容	数量
使用済み切手	約3,025,695枚(約484kg)
使用済みカード	約27,166枚(約54kg)
はがき	約3,544枚(約12kg)

換金額
533,600円

収益は県内のボランティア活動に役立てられています。



使用済み切手の収集について

使用済み切手は、

- ◎切手のまわりを1cmほど残して
- ◎消印、切手のギザギザが残るように切り取るようにしてください。

余白がない・消印や切手が切れているものは、換金することができず、処分の対象となってしまいます。ご協力いたたく上で、今一度ご確認ください。



このマークがついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。

ボランティア活動



給食サービス

本事業は、在宅のおおむね 65 歳以上の虚弱なひとり暮らし等に対して、栄養バランスのとれた食事を提供することにより「食」を通して在宅での生活を支援することを目的とします。調理・配送・小学生による掛け紙ボランティア等、皆さんの参加により支えていただいている事業です。

《利用できる方》 在宅のおおむね 65 歳以上の虚弱なひとり暮らし高齢者等。

《実施日》 毎月第 2・4 水曜日 ※ 7 月・8 月は除く

《利用料》 無料

《利用方法》 担当地区の民生委員または町社会福祉協議会までご連絡ください。



配送ボランティア募集中!!

お弁当を届けてくれるボランティアを募集しています。

ボランティア活動に興味がある方、

人と関わることが好きな方はお問い合わせください。

《活動日》 毎月第 2・4 水曜日

《時間》 11:00 ~ 12:00 頃

【問い合わせ・申し込み】 地域福祉係 **887-0084**

ボランティア連絡会

ボランティア連絡会会員交流会を実施しました。

ボランティア連絡会では、地域のボランティア同士の交流・連携のため、毎月会員交流会を実施しています。つながり作りにご興味のある方は、ぜひお問い合わせください。



6月・公園散策

霞ヶ浦総合公園を散策しながら、交流を楽しみました。



7月・スクエアステップ

町運動普及推進員の皆さんにご指導をいただき、スクエアステップの体験をいたしました。だんだん難しくなるステップに挑戦し、体も頭もリフレッシュすることができました!!



丸和バイオケミカル株式会社様よりご寄付をいただきました。

令和4年8月15日、丸和バイオケミカル株式会社様より、町内の子ども食堂の運営等、子どもたちへの支援のために 150 万円の寄付をいただきました。丸和バイオケミカル株式会社様は、本年5月に「阿見開発センター」を新設され、今回、法人で取り組んでおられる社会貢献活動の一環として本会に寄付をされました。

いただいた寄付は町内で活動している子ども食堂の運営支援等に大切に活用させていただきます。誠にありがとうございました。



こども食堂



この度ご支援いただいた子ども食堂は、現在町内4か所で開催されています。

感染症対策のため、お弁当のテイクアウト方式にするなど、工夫をしながら活動を続けています。



おいでよ! 11月・12月の予定

子ども食堂とは、主に町内のボランティアが主体となり、無料または低額で子どもたちに食事を提供する、地域に密着したコミュニティの場です。

子ども食堂・フレッシュAMI

場 所: かすみ公民館
開催日: 11月19日(土)、12月17日(土)・24日(土)
時 間: 15:00~16:30
問い合わせ: 090-9822-5527 (亀村)

こども食堂・ホープあみ

場 所: 本郷ふれあいセンター
開催日: 11月12日(土)・26日(土)、
12月3日(土)・17日(土)
時 間: 11:30~
問い合わせ: 090-1556-0101 (難波)

子ども食堂・クローバー

場 所: 吉原交流センター
開催日: 第2日曜日(詳しい日程はお問い合わせください)
時 間: 13:30~16:00
問い合わせ: 080-6531-4650 (清水)

なないろキッチン

場 所: レプラコーン若栗
開催日: 第4土曜日(詳しい日程はお問い合わせください)
時 間: 11:00~13:00
問い合わせ: 887-1788 (渡邊)

※開催状況については、変更のある場合があります。利用の際は、事前に各問い合わせ先にご連絡ください。



このマークがついている事業は社協会費が活用されています。

社協からのお知らせ



じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金運動がはじまりました

赤い羽根
共同募金

一般募金10月1日～12月31日 歳末募金12月1日～12月31日

共同募金運動は、1947（昭和22）年に「国民たすけあい運動」として始まって以来、赤い羽根募金として広く定着し、今年も10月1日から全国一斉に運動が展開されます。皆さまからお寄せいただいた募金は、子どもたち、高齢者、障害のある方への支援や新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急支援など、町内のさまざまな福祉活動に役立てられています。12月1日からは歳末たすけあい募金運動がはじまります。寄付者の皆さまと、募金ボランティアの皆さまのご協力によって「じぶんの町を良くするしくみ。」は推進されています。引き続き赤い羽根共同募金運動へのご支援ご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。



「カプセルトイ募金」のご案内



阿見町共同募金委員会では、身近に募金に協力していただける一つの方法として、さわやかセンター1階に「カプセルトイ」を設置しました。「カプセルトイ」は1回100円で、カプセルの中には赤い羽根共同募金オリジナルグッズなどが入っています。10月から3か月間設置しますので、皆さまのご協力をお待ちしています！



総合相談

心配ごと相談（予約不要）	
相談日	毎週水曜日
時間	13:00～16:00 (受付 12:30～15:30)
場所	阿見町総合保健福祉会館 さわやかセンター

弁護士相談（要予約）	
相談日	毎月第1水曜日（月1回）
時間	13:00～15:30
毎週水曜日の心配ごと相談にて事前にお話しを伺い、弁護士相談が必要な場合に予約となります。	

福祉相談・介護相談・ボランティア相談	
常時受け付けています。それぞれの担当者が親身になって相談をお受けいたします。お気軽にご相談ください。	

【問い合わせ】887-0084

声の「しゃきょうだより」を聞いてみませんか？

視覚に障害のある方や、文字を読むのが困難な方のために、音訳CDをお渡しします。必要な方はお問い合わせください。

※CDはボランティアサークル「阿見朗読の会」の皆さんによって作成されています。

三世代交流ウォーキング 住吉シルバークラブ



シトラスリボンは、シルバークラブ手芸同好会の皆さんが作りました。

住吉シルバークラブと育成会が合同で、「三世代交流ウォーキング」を実施し、災害時に避難場所として指定されている「あさひ小学校」へ、小学生の通学路を歩いて向かいました。

出発時、参加者の皆さんへ「シトラスリボン」が配られました。「シトラスリボン」は新型コロナによる差別や偏見のない社会を目的とし、町内では霞ヶ浦高校の生徒さんが取り組んでいます。高校生が作ったリボンを手に取ったシルバークラブのメンバーが、「ただいま」「おかえり」と言い合える、暮らしやすい地域をめざして、今回の企画にシトラスリボンの配布を加えたそうです。日頃からの声掛けが災害時の助け合いにつながります。感染症拡大の影響を繰り返し受ける中、人と人とのつながりを保ち、やさしさあふれる地域づくりへの思いを感じることができました。



阿見社協の情報については、ホームページもご覧ください
社協の最新情報や、グループホームの利用状況などがご覧いただけます。

<http://www.amishakyo.or.jp/>

